

ふれあい新聞

ファミリーサポートセンター(ファミサポ)は、子育ての「援助が必要な方」と「援助を行いたい方」を結ぶ会員組織です。



お母さん、病院へ行ってらっしゃい

依頼会員のHさんは転勤族のため、八戸に頼れる人もなく、病院にいきたくても子連れだと難しかったため、ファミサポを利用することにしました。「産後の腰痛がひどく、病院での治療は時間がかかるため、預かってもらってとても助かっています。はじめはどんな方がみてくださるか・・・と不安がありましたますがまず顔合わせの際にその不安はなくなりました。完全母乳で育てているので、預ける際にはおっぱいが欲しくて泣くのが一番不安でした。提供会員のSさんにご配慮いただいて、Sさん宅で授乳してから出かけるようにしているので、2-3時間は持つかなと思って出かけたり、ぐずってもあやして下さって笑顔でいい子にしているようで安心してお願いしています。」

提供会員Sさんは、関東で働いている娘がファミサポを利用しているということで自分も少しでも地域の役に立てればという思いで活動しています。子どもに接することで元気がもらえるというSさん。Hさんの抱っこひもを使ってみて、今の育児用品は腰にも負担がないと新しいものも上手に取り入れ、ファミサポの活動を楽しんでいました。提供会員さんは、お母さんに寄り添ってサポートしてくれるありがたい存在ですね。

令和元年度 活動報告

援助活動件数

720件

会員数 (令和2年3月末現在)

| | | |
|------|------|-------------------|
| 提供会員 | 256人 | 合計 672人 |
| 依頼会員 | 409人 | |
| 両方会員 | 7人 | |

●八戸市

(単位：人)

| 地区名 会員別 | 三八城 | 柏崎 | 吹上 | 中居林 | 長者 | 小中野 | 江陽 | 湊 | 白銀 | 白銀南 | 鮫 | 根城 | 白山台 | 田面木 | 是川 | 上長 | 市川 | 桔梗野 | 多賀台 | 館 | 豊崎 | 大館 | 東 | 下長 | 根岸 | 南浜 | 南郷 |
|------------|-----|----|----|-----|----|-----|----|----|----|-----|----|----|-----|-----|----|----|----|-----|-----|---|----|----|----|----|----|----|----|
| 提供会員 | 12 | 9 | 10 | 7 | 3 | 7 | 4 | 2 | 9 | 7 | 8 | 30 | 17 | 5 | 4 | 14 | 8 | 3 | 0 | 3 | 2 | 19 | 12 | 19 | 10 | 1 | 3 |
| 依頼会員 | 19 | 22 | 27 | 12 | 11 | 15 | 9 | 13 | 9 | 3 | 3 | 25 | 33 | 5 | 7 | 26 | 6 | 5 | 3 | 1 | 1 | 32 | 15 | 38 | 33 | 0 | 2 |
| 両方会員 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 計 | 31 | 31 | 37 | 19 | 14 | 22 | 13 | 15 | 18 | 10 | 11 | 55 | 50 | 10 | 11 | 42 | 14 | 8 | 3 | 4 | 3 | 52 | 28 | 58 | 44 | 1 | 5 |

●近隣市町村

(単位：人)

| 地区名 会員別 | 三戸町 | 南部町 | 五戸町 | 田子町 | 階上町 | 新郷村 | おいらせ町 | その他 |
|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|
| 提供会員 | 4 | 2 | 5 | 1 | 7 | 0 | 9 | 0 |
| 依頼会員 | 6 | 3 | 4 | 0 | 5 | 0 | 15 | 1 |
| 両方会員 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 計 | 10 | 5 | 9 | 1 | 12 | 0 | 25 | 1 |

令和元年度 依頼内容トップ5

1. その他
(双子のサポート・PTA役員会参加のため・学童前の朝の預かり)
2. 学童クラブの迎え及び帰宅後の預かり
保育所・学校等休み時の援助
3. 保育所等施設入所前の援助
4. 保護者等の買い物等外出の場合の援助

メッセージ紹介

会員さん達からのあたたかい一言

Yちゃん

2月に入りお母さまが病気のため広島の実家へ行き、Yちゃんは学校もあり終業式まで八戸に残ることになりました。八戸に残り学校生活を楽しんでいたのですが、コロナで3月3日から学校が休みになり、八戸からもコロナ感染者がでて、それで楽しみにしていた26日の出校日も中止になり、同級生とも会うことなく広島に帰りました。サポートの間、私が編み物を袋に入れてあつたのを見て、お願いがあるとお母さまに帽子を編んであげたいと言われ鎖編みを教えたらすぐに覚えてくれて、私が帽子を編んでその周りにYちゃんが編んだ鎖編みをつけてあげました。

もう少しでできる頃、Yちゃんと私の目から涙があふれ、私は作ってあげて良かった。帰ったらお母さまにかぶせてあげると私に何度もありがとうとお礼を言い、まだ小学2年生なのに大人と変わらない考えでした。わたしのことを大好きと私もYちゃんのこと大、大、大好きと書いてあげました。3月下旬、主人と2人で見送りに行き、主人の目からも涙。サポート出来たことに感謝です。

《提供会員 Kさんより》

以前サポートしていた双子ちゃん一家は、〇〇市に引っ越しされましたが、元気な顔を見せにみんなで遊びに来てくれました。4月から年長さんです。本当に良い出会いをいただきました。

《提供会員 Jさんより》



読み聞かせを楽しもう!

2/20 (木)

令和元年度、最後のステップアップ研修会は「読み聞かせを楽しもう」と題して、前半には読み聞かせを楽しむための講義、後半にはグループになって絵本の読み聞かせを体験しました。

講師にお迎えしたのは、八戸学院 地域連携研究センター教授 三浦 文恵 先生です。

前半では、スマホ・ゲーム機の普及で本を読まない子供が増えているため、子どものボキャブラリーが少なくなっている。本を読むことで、想像力、思考力、判断力、コミュニケーション能力、考える力が増えることを学びました。

後半では、4～5人のグループになって絵本を読み聞かせしました。読み聞かせは読解力が向上するなど学習面だけではなく、「他人を思いやる心を育てる」、「脳の血流がよくなりアルツハイマーになりにくい」など健康面からもよいと言われています。読み聞かせは小さい子供だけではなく、何歳になっても楽しめるものです。また、親が忙しく読んであげられない場合でも、親が子供に読んでもらい、読書を楽しんでほしい等、本を通じてコミュニケーションのきっかけになるお話を聞かせてもらいました。



参加者アンケートから

- 自分の子が小さかった頃に寝る前に読んでいたのを思い出しました。これほど読み聞かせに効果があると知らなかったです。
- どの年代でも読み聞かせが必要で、読解力が乏しい子供が多いため、もっと本を読む大切さを考えるべきだと思いました。
- 講師の先生のお話がとてもわかりやすく集中して聞くことができた。実習が具体的でとてもよかった。読み聞かせは読む人も聞く人もだれも損しない得するということがとても印象に残った。
- 子供が本を出し入れしやすいように家庭環境を整える。お母さんが本を読む子は本好きとのこと。子どもは本を読んでいると想像力、思考力、判断力、言語力が育つとのこと。ファミリーサポートで学んだことを生かして子供に本を読んであげ、最終的に一人で本が読めるようにしてあげたいと思います。



センターからのお知らせ

コロナウイルス感染拡大の影響により、予定が変更になることもありますので、ご了承ください。

令和2年度 第1回ステップアップ研修会

子育てのコミュニケーション ～子どもとどう話す?～

スマホやゲーム等メディアの普及によりコミュニケーション能力が低くなっていることから、上手にコミュニケーションをとるコツなどを学びましょう。

- 日時 令和2年6月10日(水)
10:00～12:00
- 場所 八戸市総合福祉会館 2階 多目的ホール
(はちふくプラザねじょう)
- 講師 八戸学院 国際教育局
国際教育センター 八戸センター長
地域連携研究センター
教授 三浦 文恵 氏
- 対象 ファミサポ提供会員と両方会員のみ
- 参加費 無 料
- 定 員 30名程度
- 締 切 令和2年5月29日(金)

提供会員と両方会員のみが対象

★同封したチラシを併せてご覧ください★

令和2年度 第1回会員交流会

ハンドメイドマスク

現在、マスク不足が続いております。何度も洗って使えるプリーツマスクを作りましょう。

- 日時 令和2年7月27日(月)
9:30～11:30
《前半・後半で、1時間程度の制作》
- 場所 八戸市総合福祉会館 3階 大会議室
(はちふくプラザねじょう)
- 講師 nathu made主宰
長塚 佳子 氏
- 対象 ファミリーサポートセンター会員と
その家族
- 参加費 300円 (材料費)
- 定 員 20組程度 定員に達し次第締切
- 締 切 令和2年7月3日(金)

★同封したチラシを併せてご覧ください★

第1回提供会員養成講習会開催予定

センターでは、子どもを預かる側(提供会員)の養成講習会を年に2回開催しています。第1回は7月に開催予定です。「地域の子育てボランティア」に興味のある方、ぜひお気軽にセンターまでご連絡ください。

●ボランティア内容

保護者の残業時の預かり、学童クラブや保育施設へのお迎えと預かり、日曜・祝日預かり等、依頼会員のニーズに合わせて対応していきます。

※詳しい日程については、行政発行の広報誌等でお知らせいたします。

三戸郡、おいらせ町まで広く会員を募集しています！お気軽にお問い合わせください。

ファミサポは、令和2年度
小笠原と中地が担当となります。
よろしくお願いいたします。



アドバイザー
小笠原・中地

センター長
みくろや
御厨

アドバイザー2人とも8人の子育てを頑張っています。サポートする側される側の立場に立った子育てを応援していきます。

編集発行 八戸市ファミリーサポートセンター

〒039-1166 八戸市根城八丁目8-155
社会福祉法人 八戸市社会福祉協議会
TEL 0178-71-2750
FAX・留守電 0178-71-2751

【e-mail】 f_support@hachinohe-shakyo.or.jp

受付時間 【電話】… 月曜日～金曜日 8:30～17:00

【メール・FAX・留守電】… 24時間

土・日・祝日・年末年始はお休み